

ほっかいどうの社会保障

2013年12月13日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

くらしていけない！ 年金制度の改善を！

12.13 引き下げられた年金支給日

不服審査請求など各地で取り組む

12月13日、引き下げられた年金の支給日、全道各地で、年金制度の改善を求めるとりくみが行われました。年金引き下げの中止を求める不服審査請求の取り組みも広がっています。



国民運動に！ 審査請求の決起集会

13日午後から行われた「年金2.5%削減阻止 行政不服審査請求の成功をめざす道央圏決起集会」には、札幌をはじめ、岩見沢、小樽などの代表など約130人が参加し、審査請求の成功を確認しました。

集会では、渡部務・年金者組合道本部委員長の主催者報告のあと、大橋晃・北海道社保協会長や黒沢幸一・道労連議長が連帯のあいさつをしました。三浦誠一・道生連会長からは、生活保護基準引き下げの不服審査請求のとりくみの教訓などについて特別報告し、「全国1万件以上の請求運動は、厚労大臣の連続引き下げを見直す発言を引き出させた、バッシング報道の中、当事者の運動が大事だった」と強調しました。請求人代表の報告のあと、年金者組合の紺谷明史書記長が、「不服審査請求運動は、年金引き下げの流れを変えるもので、多くの方に働きかけ、国民運動に広げましょう」と呼びかけました。

「今でも大変」「不服審査請求を伝えると広がります」

請求人の代表が意見表明



集会では、各地域の請求人の代表から、とりくみなどが報告されました。午前には、街頭宣伝を行った後、参加した方も少なくありませんでしたが、岩見沢の代表は、「銀行前で宣伝したが、年金を下ろした人の多くと対話になりました。みんな困っています」と発言。

札幌市東区の代表(写真)は、「年金者組合で、学習会を行ってききましたが、今でも年金が少なく、節約して生活していること、物価もあがり生活も大変などの意見が出される」ことなど紹介、「年金が下がるこ

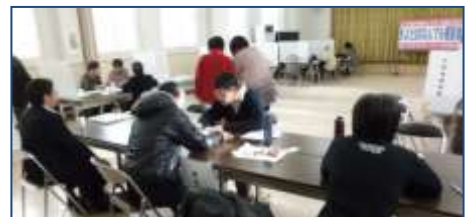
とは知っているも、不服審査請求については知らない人が多い」とつながりある人へのお誘いの重要性も強調しました。

「困っています」

各地でSOS相談会開かれ

相談相次ぐ

12月に入ってから、各地で相談会が行われています。**清田区(8日)**は今回はじめての開催。18人から生活、医療、介護、法律など24件の相談が寄せられました。2007年にリストラされて以降無職で、職安にいったが中卒では就職は難しく親と同居している方から「親の収入が減り、生活が大変難しくなってきた」、病気の症状が悪化している生活保護利用者から「就労指導が厳しく困っている」など相談も。**旭川(9日)**では、失業中で病気療養している40歳男性から「親の遺産を取り崩してなんとか生活しているが、暖房を1日2時間、食費も切りつめている。相談相手がない」という相談もありました。**東区(10日)**では、「以前住んでいた自治体から差し押さえの通知がきたがどうしたらよいか」などの相談がありました。



今後も各地で相談会 (予定)

- | | | | |
|------------|---------------------|-------------|-------------------|
| ■12月17日(火) | SOSネット北海道 電話相談会 | 10:00~18:00 | (0120-100-563 無料) |
| ■12月19日(木) | SOSにしく相談会 | 14:00~19:00 | 西区民センター1階 |
| ■12月26日(木) | 反貧困ネット「労働・生活の総合相談会」 | 10:00~16:00 | チカホ |